

特別企画：脱炭素社会に向けた愛知県企業への影響調査（2022 年）

EV の普及、自社に「マイナスの影響」22%、全国上回る
～ 脱炭素社会の進展も「マイナスの影響」がプラスを上回る ～

はじめに

日本政府は 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを宣言、7 月 27 日に脱炭素関連政策を推進する「GX（グリーントランスフォーメーション）実行会議」の初会合を開き、今後 10 年間で官民合わせて 150 兆円の投資を実現する方針が示された。

他方、脱炭素の実現に向けた一つの戦略として、政府は 2035 年までに新車販売で電動車 100% の実現を表明している。こうした動きへの対応はビジネスチャンスとなる一方で、対応が遅れた場合は事業にマイナスの影響をもたらすことが危惧されている。

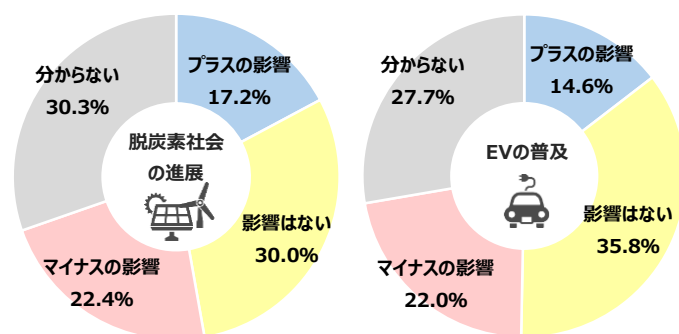
帝国データバンク名古屋支店は、脱炭素社会に向けた愛知県企業への影響について調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2022 年 7 月調査とともにに行った。

※調査期間は 2022 年 7 月 15 日～31 日、調査対象は愛知県に本社を置く 1494 社で有効回答企業数は 646 社（回答率 43.2%）。全国は 2 万 5723 社で、有効回答企業数は 1 万 1503 社（回答率 44.7%）。脱炭素社会に関する調査は、2021 年 6 月に続いて今回で 2 回目。

調査結果（要旨）

1. 脱炭素社会の進展が自社の事業に「プラスの影響」があったとした愛知県企業は 17.2%となり、全国（14.0%）を 3.2 ポイント上回った。一方、「マイナスの影響」は 22.4%となり、こちらも全国（19.5%）を 2.9 ポイント上回った。マイナスの影響がある企業はプラスの影響がある企業を 5.2 ポイント上回った。他方、「影響はない」は 30.0%となった

今後の自社の事業への影響
(左：脱炭素社会の進展、右：電気自動車（EV）の普及)

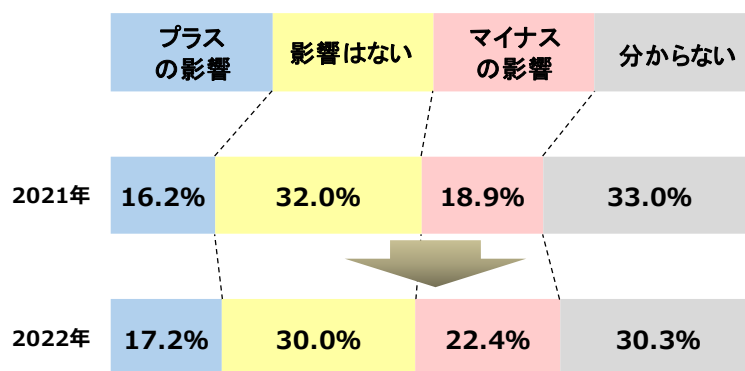


2. EV の普及が自社の事業に「プラスの影響」があったとした愛知県企業は 14.6%と全国（12.3%）を上回った。一方、「マイナスの影響」とした企業は 22.0%と全国（13.8%）を上回った。「影響はない」は 35.8%となった

1. 脱炭素社会の進展、「マイナスの影響」22.4%で前回調査から増加

脱炭素社会の進展は、今後の自社の事業にどのような影響があるか尋ねたところ、「プラスの影響」があるとした愛知県企業は17.2%となり、全国（14.0%）を3.2ポイント上回り、2021年に実施した同様の調査から1.0ポイント増となった。一方、「マイナスの影響」とした企業は同3.5ポイント増の22.4%となり、全国（19.5%）を2.9ポイント上回った。マイナスの影響がある企業はプラスの影響がある企業を5.2ポイント上回った。

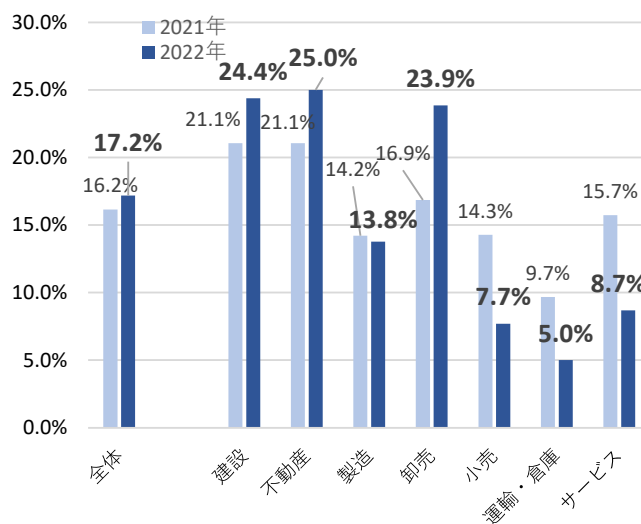
脱炭素社会の進展による事業への影響



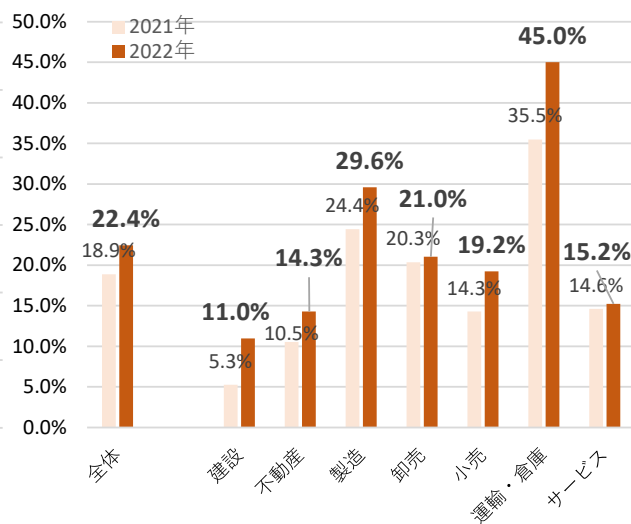
注1：母数は有効回答企業646社。2021年調査は588社

注2：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

脱炭素社会の進展が「プラスの影響」



脱炭素社会の進展が「マイナスの影響」



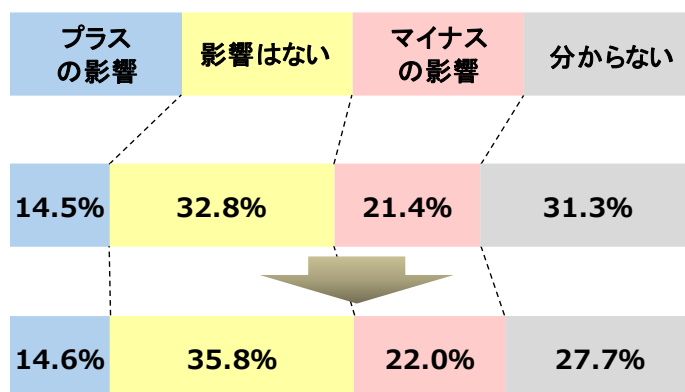
業種別で「マイナスの影響」が最も高くなったのは「運輸・倉庫」の45.0%。「製造」が29.6%で続いた。前回調査との比較では、すべての業種で「マイナスの影響」が増加しており、「脱炭素社会」に向けた取り組みが、企業経営にとっての負担増につながっている様子が窺い知れる。

2. EV の普及、「プラスの影響」14.6%、「マイナスの影響」22.0%

電気自動車(EV)の普及は、今後の自社の事業にどのような影響があるか尋ねたところ、EVの普及が「プラスの影響」とした愛知県企業は前回調査から 0.1 ポイント増の 14.6%となり、全国（12.3%）を 2.3 ポイント上回った。

他方、「マイナスの影響」とした企業は同 0.6 ポイント増の 22.0%となり、全国（13.8%）を 8.2 ポイント上回った。「影響はない」は 35.8%となった。

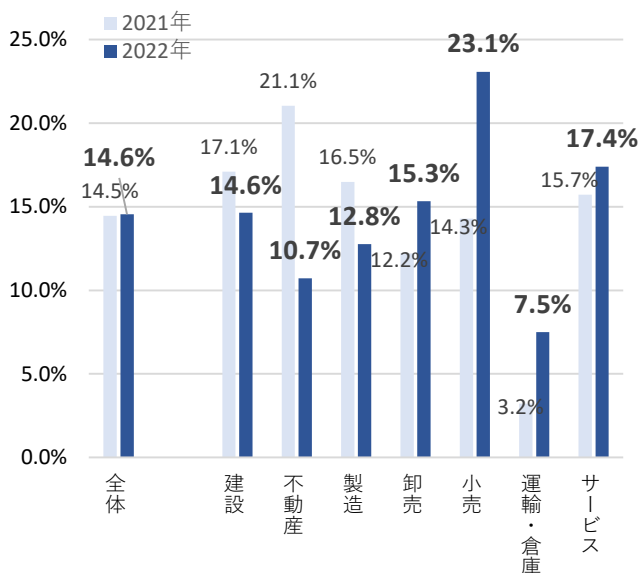
EV の普及による事業への影響



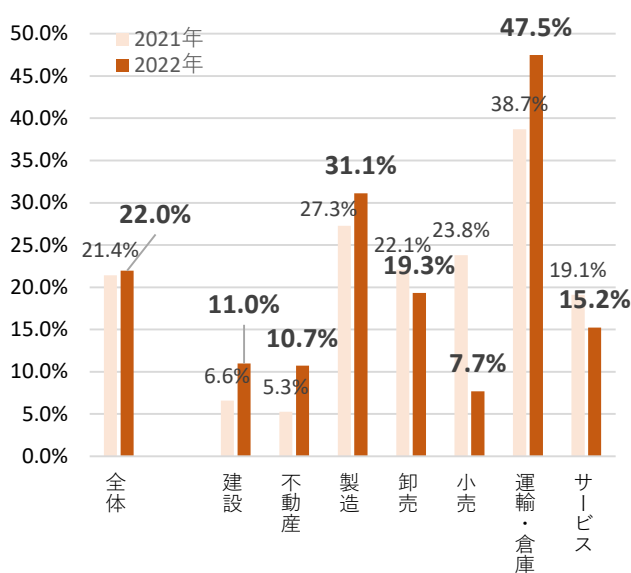
注1：母数は有効回答企業646社。2021年調査は588社

注2：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

EVの普及が「プラスの影響」



EVの普及が「マイナスの影響」



業種別では、EVの普及が事業に「マイナスの影響」の回答が最多となったのは「運輸・倉庫」（47.5%）で、次いで「製造」（31.1%）が高くなった。一方、「小売」や「サービス」はプラスの影響がマイナスの影響を上回っており、EVの普及に対する見方は業種により分かれた。

《企業からの声（抜粋）》	
先ずは自社におけるCO2排出量の算定から始めて、金融サービスを受けることで推進していく	建材・家具、窯業・土石製品製造
電動車向け製品の受注の拡大	化学品製造
EV化に合わせ急速充電器の販売に全力	リース・賃貸
火力発電所の再稼働に伴う案件引き合いが増加している	建設
これからの設備投資について、カーボンニュートラルを謳えるようにすれば既存の事業者との差別化になるのでチャンスだと考えている	運輸・倉庫
遠方への移動も多いのでEVステーションの普及状況によって検討する	専門サービス
サプライチェーンに大きな変革をもたらすことは確実。やるからには明確な期限と強制力を持って進めてほしい	運輸・倉庫
カーボンニュートラルが進んだ後の姿ばかりに目が行ってしまっている。戦争などの社会制約の中でどのように電気を作るか・貯めるかの根源に社会の目を向けさせなければならない。この点の設計がなければ、電気を使ってカーボンニュートラルを実現するには限界があり、効果が小さい	情報サービス
鋼材一つとっても炭素は入っており、どこまで遡るのか、空気中にダイレクトに排出することだけ考えるのかなど、基準の取り方に苦慮している	機械製造
営業車5台のうち、2台がEV。遠方への活動中の充電時間、直帰直行時の充電環境などで会社が営業に対して負担をかけている	パルプ・紙・紙加工品製造
燃費の良い自動車は個人ユースよりも業務用にした方が同じ台数で効果があがるはず、電気自動車は充電に必要な電気をどう調達するかで脱炭素の筆頭と思えない。二酸化炭素を減らすには森林の手入れをきちんと行い、吸収量を増やす方が、自然への負担が少ないと思う	専門サービス
脱炭素とかEVとか余裕のあるところの話って感じてまったく実感がない	飲料食品卸
自動車が主要産業の地域なのでEVで部品数が減ると雇用面で不安がある	不動産
必要性は理解できるが財務を圧迫までして行うのか疑問は残る	鉄鋼・非鉄・鋳業

まとめ

本調査の結果、脱炭素社会の進展により、17.2%の愛知県企業がプラスの影響があると考えていることが分かった。一方で、前回調査との比較ではすべての業種で「マイナスの影響」の割合が増加しており、「脱炭素社会」に向けた取り組みが、企業経営にとっての負担増につながっている様子が窺い知れる。他方、電気自動車（EV）の普及による影響については、業種ごとにバラツキがみられ、直接的な影響を受ける自動車関連や車両の入れ替えが必要な運送業などでは強く懸念されている一方で、サービス業などでは新たなビジネスの可能性を見出している企業もある。

自動車産業をはじめとした製造業が多く集積する当地区において、脱炭素やEV普及の行方がもたらす影響は大きい。エネルギー源の確保は安全保障の観点からも極めて重要であると改めて思い知らされた昨今の世界情勢のなか、カーボンニュートラルへの取り組みは持続可能な社会を構築していくために必要であり、単なる負担増ではなく新たなチャンスとして捉えられるよう、政策面での後押しにも期待される。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 名古屋支店
 担当:丸山、猿渡（080-7002-4462）
 TEL 052-561-4846 FAX 052-586-5774

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【参考】都道府県別一覧

■脱炭素影響～都道府県別～

(構成比%, カッコ内社数)

		プラスの影響	影響はない	マイナスの影響	分らない	合計
	全国	14.0 (1,613)	33.8 (3,888)	19.5 (2,240)	32.7 (3,762)	100.0 (11,503)
都	北海道	12.7 (73)	35.2 (203)	19.4 (112)	32.6 (188)	100.0 (576)
	青森	13.8 (13)	38.3 (36)	13.8 (13)	34.0 (32)	100.0 (94)
	岩手	25.3 (25)	25.3 (25)	21.2 (21)	28.3 (28)	100.0 (99)
	宮城	10.7 (22)	36.9 (76)	16.5 (34)	35.9 (74)	100.0 (206)
	秋田	17.2 (16)	31.2 (29)	19.4 (18)	32.3 (30)	100.0 (93)
	山形	12.7 (18)	28.9 (41)	27.5 (39)	31.0 (44)	100.0 (142)
	福島	9.6 (13)	29.6 (40)	31.9 (43)	28.9 (39)	100.0 (135)
	茨城	15.2 (24)	36.7 (58)	18.4 (29)	29.7 (47)	100.0 (158)
	栃木	15.1 (22)	29.5 (43)	26.7 (39)	28.8 (42)	100.0 (146)
	群馬	10.9 (19)	25.9 (45)	25.9 (45)	37.4 (65)	100.0 (174)
	埼玉	10.7 (47)	34.2 (150)	23.1 (101)	32.0 (140)	100.0 (438)
	千葉	14.6 (48)	34.3 (113)	19.5 (64)	31.6 (104)	100.0 (329)
	東京	14.9 (294)	38.0 (749)	14.1 (279)	33.0 (650)	100.0 (1,972)
	神奈川	13.9 (73)	36.1 (190)	18.8 (99)	31.3 (165)	100.0 (527)
	新潟	11.4 (29)	29.1 (74)	20.9 (53)	38.6 (98)	100.0 (254)
	富山	16.5 (19)	26.1 (30)	23.5 (27)	33.9 (39)	100.0 (115)
道	石川	13.3 (15)	30.1 (34)	21.2 (24)	35.4 (40)	100.0 (113)
	福井	16.4 (19)	37.1 (43)	18.1 (21)	28.4 (33)	100.0 (116)
	山梨	21.6 (24)	36.0 (40)	11.7 (13)	30.6 (34)	100.0 (111)
	長野	22.8 (65)	29.1 (83)	18.6 (53)	29.5 (84)	100.0 (285)
	岐阜	12.4 (22)	27.5 (49)	24.2 (43)	36.0 (64)	100.0 (178)
	静岡	15.6 (56)	27.7 (99)	24.0 (86)	32.7 (117)	100.0 (358)
	愛知	17.2 (111)	30.0 (194)	22.4 (145)	30.3 (196)	100.0 (646)
	三重	13.1 (19)	26.9 (39)	26.2 (38)	33.8 (49)	100.0 (145)
	滋賀	16.7 (21)	31.7 (40)	22.2 (28)	29.4 (37)	100.0 (126)
	京都	12.0 (31)	37.8 (98)	17.0 (44)	33.2 (86)	100.0 (259)
	大阪	12.8 (119)	35.6 (331)	19.5 (182)	32.1 (299)	100.0 (931)
	兵庫	12.3 (59)	32.9 (158)	18.8 (90)	36.0 (173)	100.0 (480)
	奈良	10.9 (10)	40.2 (37)	14.1 (13)	34.8 (32)	100.0 (92)
	和歌山	10.0 (9)	25.6 (23)	34.4 (31)	30.0 (27)	100.0 (90)
	鳥取	14.5 (9)	32.3 (20)	17.7 (11)	35.5 (22)	100.0 (62)
	島根	16.1 (15)	30.1 (28)	24.7 (23)	29.0 (27)	100.0 (93)
府	岡山	14.3 (29)	38.4 (78)	16.7 (34)	30.5 (62)	100.0 (203)
	広島	10.1 (27)	37.1 (99)	18.7 (50)	34.1 (91)	100.0 (267)
	山口	9.1 (15)	35.8 (59)	25.5 (42)	29.7 (49)	100.0 (165)
	徳島	18.2 (14)	31.2 (24)	20.8 (16)	29.9 (23)	100.0 (77)
	香川	15.5 (17)	29.1 (32)	22.7 (25)	32.7 (36)	100.0 (110)
	愛媛	16.7 (22)	25.8 (34)	22.7 (30)	34.8 (46)	100.0 (132)
	高知	13.3 (8)	41.7 (25)	15.0 (9)	30.0 (18)	100.0 (60)
	福岡	12.1 (39)	35.4 (114)	17.4 (56)	35.1 (113)	100.0 (322)
	佐賀	12.5 (6)	31.3 (15)	20.8 (10)	35.4 (17)	100.0 (48)
	長崎	16.7 (19)	28.9 (33)	26.3 (30)	28.1 (32)	100.0 (114)
	熊本	16.4 (21)	35.9 (46)	15.6 (20)	32.0 (41)	100.0 (128)
	大分	14.8 (12)	25.9 (21)	24.7 (20)	34.6 (28)	100.0 (81)
	宮崎	6.1 (4)	43.9 (29)	19.7 (13)	30.3 (20)	100.0 (66)
	鹿児島	9.3 (10)	32.4 (35)	12.0 (13)	46.3 (50)	100.0 (108)
	沖縄	13.9 (11)	32.9 (26)	13.9 (11)	39.2 (31)	100.0 (79)

注1：網掛けは、全体以上を表す

注2：母数は、有効回答企業1万1,503社

■EV影響～都道府県別～

(構成比%, カッコ内社数)

		プラスの影響	影響はない	マイナスの影響	分らない	合計
	全国	12.3 (1,413)	42.3 (4,863)	13.8 (1,591)	31.6 (3,636)	100.0 (11,503)
都	北海道	9.0 (52)	45.3 (261)	13.7 (79)	31.9 (184)	100.0 (576)
	青森	13.8 (13)	43.6 (41)	11.7 (11)	30.9 (29)	100.0 (94)
	岩手	14.1 (14)	36.4 (36)	20.2 (20)	29.3 (29)	100.0 (99)
	宮城	11.7 (24)	39.8 (82)	15.0 (31)	33.5 (69)	100.0 (206)
	秋田	10.8 (10)	37.6 (35)	18.3 (17)	33.3 (31)	100.0 (93)
	山形	11.3 (16)	40.1 (57)	16.2 (23)	32.4 (46)	100.0 (142)
	福島	5.9 (8)	42.2 (57)	22.2 (30)	29.6 (40)	100.0 (135)
	茨城	13.3 (21)	47.5 (75)	11.4 (18)	27.8 (44)	100.0 (158)
	栃木	15.8 (23)	37.7 (55)	14.4 (21)	32.2 (47)	100.0 (146)
	群馬	9.8 (17)	35.6 (62)	24.7 (43)	29.9 (52)	100.0 (174)
	埼玉	11.6 (51)	38.8 (170)	16.0 (70)	33.6 (147)	100.0 (438)
	千葉	14.3 (47)	41.3 (136)	11.6 (38)	32.8 (108)	100.0 (329)
	東京	11.9 (235)	47.9 (944)	8.8 (174)	31.4 (619)	100.0 (1,972)
	神奈川	14.2 (75)	42.9 (226)	14.8 (78)	28.1 (148)	100.0 (527)
	新潟	8.3 (21)	38.2 (97)	13.8 (35)	39.8 (101)	100.0 (254)
	富山	15.7 (18)	39.1 (45)	17.4 (20)	27.8 (32)	100.0 (115)
道	石川	9.7 (11)	45.1 (51)	15.0 (17)	30.1 (34)	100.0 (113)
	福井	13.8 (16)	44.8 (52)	12.1 (14)	29.3 (34)	100.0 (116)
	山梨	16.2 (18)	45.0 (50)	10.8 (12)	27.9 (31)	100.0 (111)
	長野	21.1 (60)	38.2 (109)	15.8 (45)	24.9 (71)	100.0 (285)
	岐阜	11.2 (20)	36.0 (64)	12.9 (23)	39.9 (71)	100.0 (178)
	静岡	12.3 (44)	35.8 (128)	19.6 (70)	32.4 (116)	100.0 (358)
	愛知	14.6 (94)	35.8 (231)	22.0 (142)	27.7 (179)	100.0 (646)
	三重	15.2 (22)	32.4 (47)	17.9 (26)	34.5 (50)	100.0 (145)
	滋賀	19.8 (25)	39.7 (50)	14.3 (18)	26.2 (33)	100.0 (126)
	京都	12.0 (31)	45.9 (119)	8.9 (23)	33.2 (86)	100.0 (259)
	大阪	11.2 (104)	44.4 (413)	12.0 (112)	32.4 (302)	100.0 (931)
	兵庫	11.7 (56)	42.7 (205)	12.5 (60)	33.1 (159)	100.0 (480)
	奈良	7.6 (7)	48.9 (45)	12.0 (11)	31.5 (29)	100.0 (92)
	和歌山	15.6 (14)	31.1 (28)	27.8 (25)	25.6 (23)	100.0 (90)
	鳥取	11.3 (7)	37.1 (23)	14.5 (9)	37.1 (23)	100.0 (62)
	島根	9.7 (9)	44.1 (41)	16.1 (15)	30.1 (28)	100.0 (93)
府	岡山	9.9 (20)	43.8 (89)	16.3 (33)	30.0 (61)	100.0 (203)
	広島	8.6 (23)	41.2 (110)	18.0 (48)	32.2 (86)	100.0 (267)
	山口	9.1 (15)	51.5 (85)	14.5 (24)	24.8 (41)	100.0 (165)
	徳島	15.6 (12)	36.4 (28)	18.2 (14)	29.9 (23)	100.0 (77)
	香川	9.1 (10)	43.6 (48)	10.9 (12)	36.4 (40)	100.0 (110)
	愛媛	15.9 (21)	34.1 (45)	15.9 (21)	34.1 (45)	100.0 (132)
	高知	8.3 (5)	51.7 (31)	15.0 (9)	25.0 (15)	100.0 (60)
	福岡	10.9 (35)	43.8 (141)	9.3 (30)	36.0 (116)	100.0 (322)
	佐賀	18.8 (9)	37.5 (18)	12.5 (6)	31.3 (15)	100.0 (48)
	長崎	14.0 (16)	37.7 (43)	12.3 (14)	36.0 (41)	100.0 (114)
	熊本	15.6 (20)	39.1 (50)	11.7 (15)	33.6 (43)	100.0 (128)
	大分	17.3 (14)	33.3 (27)	14.8 (12)	34.6 (28)	100.0 (81)
	宮崎	4.5 (3)	60.6 (40)	9.1 (6)	25.8 (17)	100.0 (66)
	鹿児島	14.8 (16)	37.0 (40)	8.3 (9)	39.8 (43)	100.0 (108)
	沖縄	13.9 (11)	41.8 (33)	10.1 (8)	34.2 (27)	100.0 (79)

注1：網掛けは、全体以上を表す

注2：母数は、有効回答企業1万1,503社